

**地域活性化総合特区・地域医療再生
臨時特例交付金について**

日時：平成24年1月16日（月）

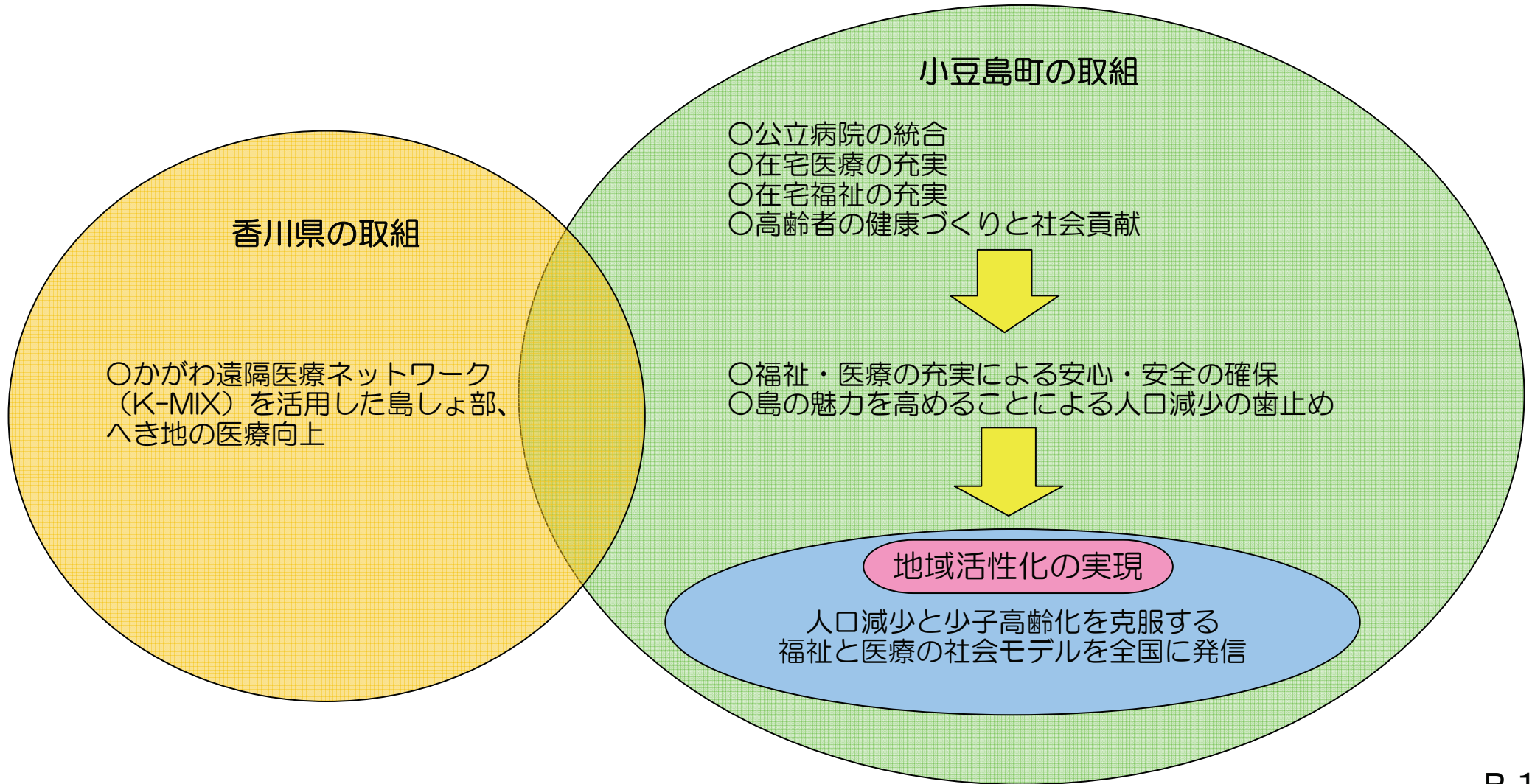
午後3時～

場所：内海庁舎・研修室

かがわ医療福祉総合特区

～小豆島をはじめとする、かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）を生かした安心の街づくり～

厳しい競争の中、地域活性化総合特区に指定されました（全国で26件）



かがわ医療福祉総合特区構想

～ 小豆島をはじめとする、かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)を生かした安心の街づくり計画案 ～

遠隔医療・医療連携 ●香川県は、三方を瀬戸内海に囲まれ、24の有人離島を有するほか、県内各地にへき地が点在。こうした地域の高齢者など交通弱者といわれる住民も、中核病院と同じような医療が受けられるよう医療水準の向上を図ることが課題。課題解決を図るため、平成15年に全国初の全県的医療ネットワークとして運用を開始した「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」を活用して、効果的に医療・医薬連携を進め、島しょ部やへき地における医療の確保と環境改善につなげることが必要。

くすり・医薬連携 ●身近に薬局がない島しょ部・へき地患者に対する薬の交付と服薬指導体制の充実を図るため、構築中の医療機関と薬局を結ぶ処方情報電子化システム(紙処方せん併用)を生かして、処方・病名・検査・副作用情報の双方向通信による医薬連携システムを構築する。

救急・災害医療 ●救急患者への迅速な措置による救命率の向上や病後の改善に向けた、災害・救急システムと医療機関の持つ患者情報の連携や救急救命士の活用が必要。

福祉 ●高齢化率の高い島しょ部・へき地では福祉事業施設が不足している一方、今後、公共施設の余剰が見込まれており、現有公共施設の有効活用が課題となっている。また、公共交通機関は路線・便数ともに限られているが、自家用車等を有しない高齢者が多く、通院や買い物にも支障が生じている。

遠隔医療・医療連携

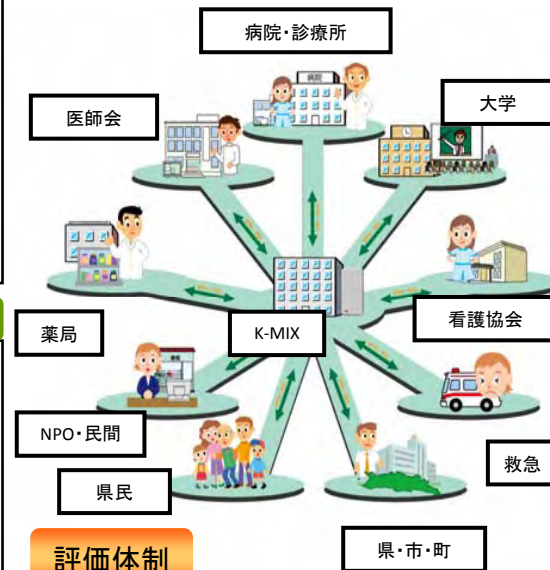
- ドクターコム活用促進事業(県・県医師会・県看護協会)**
 - ・全国初の遠隔医療を活用した訪問看護
 - ・香川県で独自に開発した電子カルテ機能統合型テレビ会議システム・ドクターコムを活用して医師が遠隔で診療を行う
 - ・県が実施する訪問看護や遠隔医療に関する研修を受けた島しょ部・へき地限定の看護師「オーブナース」が医師の指示を受けながら院内と同じように処置を行い、在宅医療を推進
- 遠隔医療ネットワークコンサルティング事業(NPO法人e-HCIC・(株)ミトラ)**
 - ・遠隔医療先進地としての経験を生かした、遠隔診療のコーディネートやドクターコム導入サポート、遠隔医療の調査報告事業の実施と、県内外への遠隔医療の浸透

救急・災害医療

- 救急・災害医療連携事業(県・関係消防本部)**
 - ・広域災害救急医療システムとK-MIXの連携による医療機関と消防との患者情報の共有化
 - ・ドクターコムによる医師の直接の指示を受けた救急救命士による救命措置と島しょ部からの転院搬送の実施
 - ・救急救命士に対する措置範囲拡大のための研修の実施
- <規制緩和> 救急救命士による処置範囲の拡大(救急救命士法第44条、同施行規則第21条)
- ・転院搬送における医師の同乗要件の緩和(医療法第15条の2等)
- ・救急隊の編成基準の緩和(消防法施行令第44条等)
- 医療ライブラリー事業(県・県医師会)**
 - ・災害対応訓練マニュアルや災害医療に関する研修のほか医療全般に関する研修資料の動画やデータのライブラリを設置

県独自の支援

財政支援：ドクターコム整備、オーブナースの育成、救急救命士の教育、医薬連携システム事業、超高速ブロードバンド整備



評価体制

- ・遠隔医療や薬など分野ごとに関係者により構成された部会で各事業の検証・評価を定期的に行い、地域協議会に報告。
- ・必要に応じて、事業の見直しやオーブナースや救急救命士への研修の追加を行う。

くすり・医薬連携

- へき地薬局開設事業(県・さぬき市・県薬剤師会等)**
 - ・地域薬局が連携のうえ、薬剤師の勤務体制・薬の在庫管理を支援する「へき地薬局」を開設し、医薬連携による服薬指導を充実
 - ・調剤薬を薬剤師がへき地の患者宅において交付、前回と同じ薬剤で、薬剤師が対面による情報提供不要と判断した場合におけるドクターコムを利用した遠隔服薬指導の実施
- <規制緩和> 薬局管理者の従事制限の緩和(薬事法7条第3項)
 - ・薬局以外の場所での調剤制限の緩和(薬剤師法第22条)
 - ・調剤薬の情報提供要件の緩和(薬事法施行規則第15条の13等)
 - ・薬局の開局時間の要件緩和(薬局業務運営ガイドライン)
- 処方情報電子化・医薬連携事業(県・県薬剤師会、徳島文理大学等)**
 - ・総務省事業「処方情報電子化事業」等を活用した医薬連携システムの構築とお薬手帳電子化の推進
 - ・副作用早期発見のための薬剤師の研修

福祉

- 複合型福祉サービスの充実等(介護事業者)**
 - ・小規模多機能型居宅介護等と居宅療養管理指導との組み合わせによる、要介護者支援の充実
- <規制緩和>
 - ・既存の介護サービスと居宅療養管理指導の複合型サービスの創設等(介護保険法第42条の2等)
- 福祉分野における現有公共施設の有効活用(小豆島町等)**
 - ・町なかにある病院施設等の現有の公共施設を有効に活用し、住民の利便性向上に配慮した福祉施策を総合的に展開
- 交通弱者外出支援事業(小豆島町)**
 - ・高齢者等の外出手段を確保するための市町と契約した運転手が所有する自家用車を活用した外出支援
- <規制緩和> 市町村運営有償運送の規制緩和(自動車交通局長通知)

小豆島での福祉と医療による総合的な地域活性化

医療：2つの公立病院は、医師をはじめとする医療スタッフの減少により、十分な医療が提供できないだけでなく、経営的にも厳しい状況にある。公立病院を再編し、魅力ある病院にすることによる医療スタッフの確保と、他医療機関との連携推進により、住民が安心できる医療の提供を図る。

福祉：高齢化率が高く、介護保険制度等の現在の制度では、十分な福祉の提供ができない。地域と協働して福祉を充実することにより、元気高齢者を増やし、高齢者や障害者ができる限り地域で暮らし続ける社会を実現する。

医療の取組み

- ・公立病院の再編・統合の検討
(安心して暮らせる医療水準の確保)
- ・**在宅医療充実事業**
(情報通信機器を活用した在宅患者への診療と訪問看護師への指示)

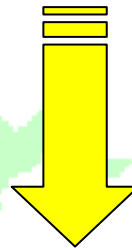
福祉の取組み

- ・**公共施設有効活用事業**
(既存施設を福祉施設に転用し、有効に活用)
- ・**複合型福祉サービス充実事業**
(小規模多機能型居宅介護と居宅療養管理指導を一体的に提供)
- ・**交通弱者外出支援事業**
(ボランティアを活用したドア・ツー・ドアサービスの提供)
- ・地域支え合い体制づくり事業
(各地域に高齢者活動のための拠点整備)
- ・福祉のまちづくり支援事業
(自主的な福祉のボランティア活動を支援)

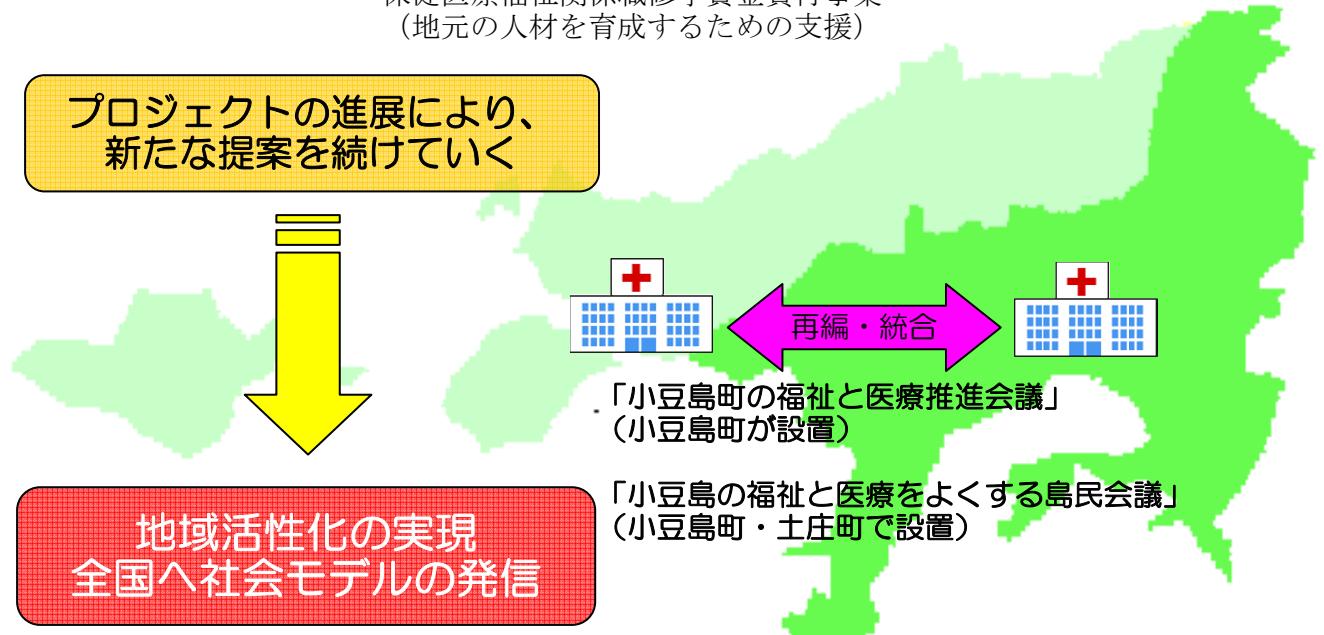
人材育成の取組み

- ・**オリーブナース育成事業**
(情報通信機器を活用して訪問看護師の研修を実施)
- ・医療職員等研修・研究等支援事業
(医療スタッフの研修・研究を町が支援)
- ・保健医療福祉関係職修学資金貸付事業
(地元の人材を育成するための支援)

プロジェクトの進展により、
新たな提案を続けていく



地域活性化の実現
全国へ社会モデルの発信



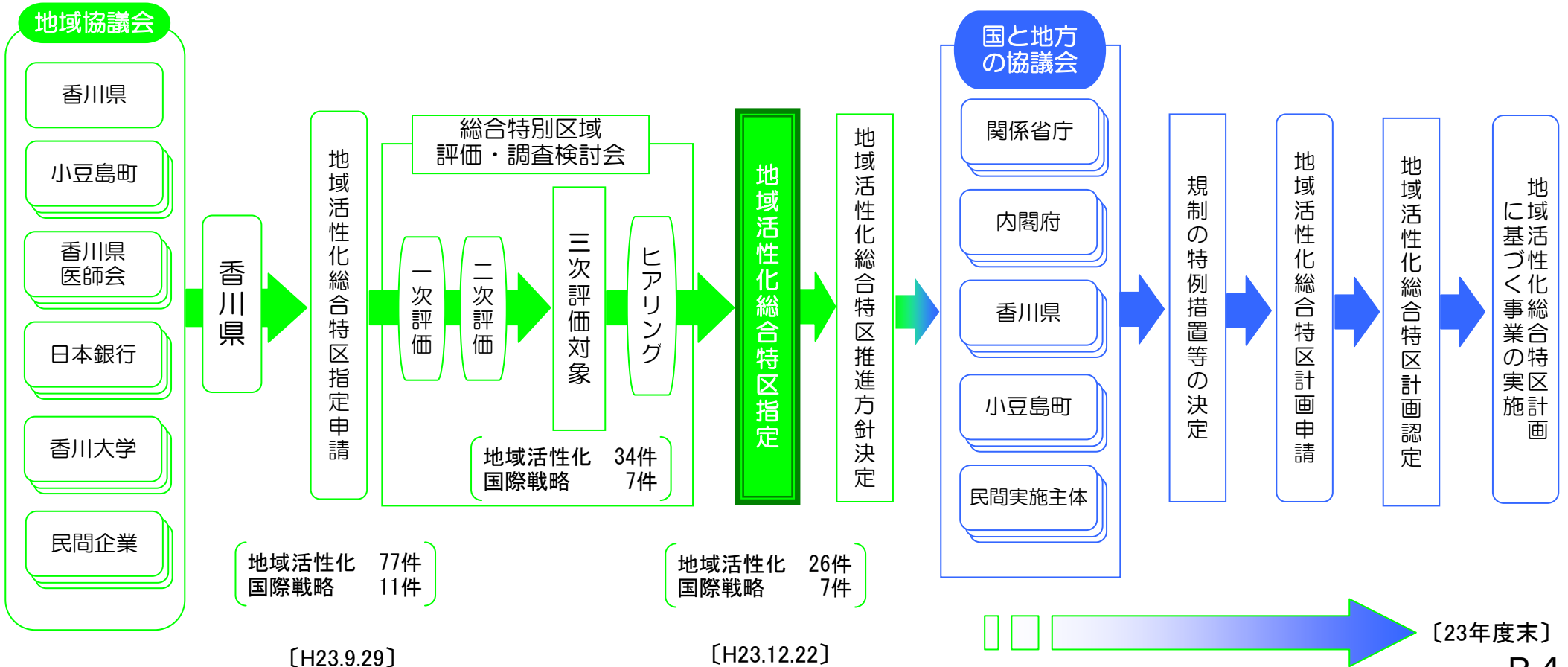
太字・斜体で記載した項目が規制緩和に関する事業

かがわ医療福祉総合特区

～小豆島をはじめとする、かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）を生かした安心の街づくり～

地域活性化総合特区の趣旨：地域資源を最大限に活用した地域活性化の取組による地域力の向上を目指す。

そのために、規制・制度の特例、税制・財政・金融措置等をオーダーメイドで総合的に支援する。



地域医療再生臨時特例交付金の経過

国・香川県・小豆島町及び小豆医療圏

国		香川県		小豆島町及び小豆医療圏	
H22.11.26	補正予算が成立 (交付金総額 2,100億円)	H23.6.16	香川県地域医療再生計画を国へ提出 (交付金要望額 約7億7,300万円) *小豆医療圏の新たな統合新病院整備 27億円	/	
H23.10.14	都道府県へ交付額内示 (香川県への内示額 約44億400万円)	H23.11.4	内示額に合わせた香川県地域医療再生計画を 国へ提出 *小豆医療圏の新たな統合新病院整備 25億円		
H23.12.12	都道府県へ交付決定	H23.12.15	11月定例県議会において補正予算成立 ・基金積立 約44億400万円 ・基金取崩し 約8,600万円	H23.12.16	・小豆島町(災害拠点病院 等機能強化として100万 円の内示、人工呼吸器、ポ ータブル発電機)
		H24.4月以降	当初予算、補正予算により基金事業実施		
H26.3月末	対象期間終了 工事着手の場合 繰越可能	H26.3月末	対象期間終了 工事着手の場合繰越可能	H26.3月末	新病院建築工事に着手

香川県地域医療再生計画 事業内訳

計画全体事業費
約44億400万円

人材確保 約 3億2,200万円

医療構築 約15億8,200万円

小豆医療圏の公立病院再編
25億円

平成23年度実施分

1,800万円

6,800万円